

第4回 高原地区街づくり協議会 議事録（要旨）	
開催日時	平成27年5月20日（水）14：00～15：45
開催場所	市役所4階 特別会議室
出席委員	13名
欠席委員	田中委員、辻沢委員、木村 ^(洋) 委員、池田委員
事務局	吉川市長公室次長、石原総合政策課長補佐、吉本主査、色雲主査、島田主事 （関係課）教育総務課・冬木次長、農林課・林課長、学校教育課・新居崎係長
決定事項	(1) 空き家活用事業（お試し居住モデル体験事業）につき、7月を基本に行事・イベント等と連動させて募集する。 (2) 民泊する場合の体験メニューづくりを検討する。 (3) 旧福住幼稚園の利活用につき、事業者を公募する。
議事内容	
<p>1. 開 会 -14：00-</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>今回で4回目となるが、新たな委員として議会より2名が選出された。ご知見を得ながら、本協議会をより一層進めていきたい。なお、先般「天理市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定にあたり奈良県立大学・高津准教授が地方創生アドバイザーに就任された。今回は、市の取り組みを把握するために同席いただき、学生も2名参加・傍聴されている。</p> <p>3. 委嘱状の交付</p> <p>議会より新たな委員として2名を紹介後、鳥山委員及び内田委員に委嘱状を交付した。</p> <p>4. 議事録の承認</p> <p>第3回協議会の議事録につき、異議なく承認された。</p> <p>5. 議 事</p> <p>(1) 高原地区活性化プロジェクト・事業一覧について</p> <p>会 長</p> <p>県民だより奈良5月号に「すすむ！奈良のまちづくり」として、県内1番目に本協議会をはじめとする天理市のまちづくりの状況が掲載された。</p> <p>また、総務省が推進する「全国移住ナビ」サイトが創設され、天理市も掲載している。今後は、動画を掲載するなどより一層充実していきたい。</p> <p>さて、議題に移るが、これまでの議論をざっくりと整理したうえで、6事業と認識している。</p>	

では、1つめの空き家利活用事業について事務局より現況を説明されたい。

事務局

前回までに、区長様より利活用できうる空き家を調査・御提示いただき、複数の存在を承知している。推進するうえでの課題として、入居者に対する不安、隣家・近隣への配慮、定住するためには上水道・下水道整備などの改修投資が必要ではないかと提言いただいた。

このような課題を認識しつつも、高原地区における第1歩をすすめていただくことが重要と考え、福住町のある方に趣旨を説明したところ、お役に立てるのならば良いですよと承諾いただいた。

実施時期は、7月中を目途とするが、単にお貸しして泊まるだけでは高原地区の良さをPRすることは困難であろうと理解し、同時期に実施される行事・イベントなどと連動させることで単なるお泊まりだけでなく体験してもらう機会を設けたい。具体には、後ほど説明される団体「やまと」様の7月4日開催「マイタケ伏せ込み&ホテル観察会」や、7月20日開催の「福住氷まつり」に来訪される方々に対して周知することを考えている。

今後の展開として、この取り組みから得られる課題を発見・改善しつつ、継続的で幅広い取り組みを図りたい。

会 長

仏壇が置いてある、たまに親戚が泊まりにくるなど諸条件があるなかで、泊まるとはどのようなものなのか、事例がないと地元でも共有しにくいと思われるなか、行政も第1手となる機会を設けることで進めることとしたい。

参加する方がどのような方々になるかは不明であるが、行政が地域の案内をするよりも地域の方々の案内・観光をしていただければおもしろいなど考えるがいかが。昨年9月の天理大学生との稲刈り体験時には、地域の皆様にご協力いただいた。

委 員

福住氷まつりを実施するので忙しいなか、お泊りする方の対応もするというのは難しいと思う。食事はどうするのか。

事務局

近隣から購入することもできるが、台所もお貸しいただけることになっており、宿泊者自らが調理準備することも可能である。宿泊者の選択によるでしょう。

会 長

もう一步踏み込むのであれば、民泊の先進事例として、食事を一緒にしていただく方がおら

れればうれしいですね。

委 員

何人程度泊まることができるのか。学生をお試的に泊まらせることも可能か。

事務局

2～3人程度の1グループと見込んでいる。ただ、狭隘な感じでもよければもう少し増やすことができる。

会 長

ただ、食材を持ちこんでバーベキューをするというのは趣旨から外れるかな。

福住で泊まる・体験するというのはいかようなのだと、見える形で周知・広報することで次につなげていきたい。資料7にある民泊も同様の取組になろう。一緒に食事をして、時期に合う作物を育てる・収穫するという形が良いと思う。

委 員

良い取り組みだと思う。旅館業法があるので、無料で宿泊・体験を組み合わせるとのことですね。食生活改善推進協議会でも、よもぎを使った餅や天ぷらなど高原で採れた山菜等を提供することはどうか。

高津地方創生アドバイザー

学生が参加すればおもしろいと思う。

委 員

対象者をどの層にするのかにより異なるかと思う。

会 長

移住者を得ることを目的とすれば、子育て世代が対象になるだろう。

委 員

次の議題と関連する明日香村での民泊事例は、対象者を学生旅行(海外含む)としており、受け入れるためには相当数の受け入れ家庭を備えないといけない。その点、移住者を対象とすれば、問題はないかな。何種類かパターンを考えてみることでですね。

委員

まずはやってみるということですね。7月まで1ヶ月ちょっとなので、PRの仕方や対象者を考えないといけない。

会長

利用される見込みはどうか。もし、時期が近づくにあたり利用者がいない可能性がある場合には、大学の御協力を得るといのはどうか。学生のご意見はどうか。

委員

興味ありますね。

会長

過ごし方の点につき、単にゆっくりするというのも大事だが、福住郷土活性化プロジェクト協議会様や福住未来クラブ様と一緒に何か活動するというのはどうか。

委員

そうですね、協力していきたい。

会長

次に、民泊モデル体験事業について議論したい。事務局より説明願いたい。

事務局 【資料7～10頁】

明日香村での視察を受けて説明する。明日香村では「民家ステイ」と表現し実施されている。対象者は、教育旅行を目的として学校団体である。受入家庭は、特定の資格や能力は必要なく、体験内容は史跡めぐり、料理づくり、きのこ狩りなど様々な生活体験を行っている。受入者へ尋ねた際には、最初は不安があったのは当然であるが、体験により学生と触れあう楽しさを実感できたことで継続していると感想を述べられた。

会長

制度の補足をする、本来ならば旅館業法による営業許可を取るなどしなければならないが、例外的に無償で実施することで可能としている制度である。地域の皆様が民泊を受け入れるなどの話は出てきたか。

委員

これまでの事業で忙しく、余裕がないところである。

会 長

受け入れにあたり特別な体験はさせなくてよい。本格的な実施を行うには、明日香村(商工会や観光協会等で構成される飛鳥ニューツーリズム協議会)のような事務局体制を整備する必要となるため、その点は今後の課題となる。

委 員

明日香村も最初は1軒だった。そこから広がっていった。

委 員

宇陀市「深野〇〇会」でも国際交流しているが、到達するまで大変だなと思う。

委 員

明日香村でも海外生を受入れているが、慣れるために天理大学の留学生で試しに泊めておられる。海外の方を泊めることがどのようなものなのかを体験しておられる。

会 長

受け入れることで日常生活でも張りをもつことにもなる。ぜひ高原地区でもすすめていただければと思う。1日のメニューづくりについては、事務局と相談していただければよい。

会 長 【資料11～12頁】

では、次に旧福住幼稚園の利活用につき話を進めたい。これまでも活用のアイデアをいただいたが、実際の管理・運営面を公の直営でとなると福祉センター案件でも手一杯な状況であるため困難と認識している。そんな折、市内の法人から、主は福祉施設として使用しながらも地域のみなさんの交流サロン・子どもスペースとして活用したいとお話をいただいている。このまま放置しておけば廃屋になる懸念があるし、地方創生交付金を活用できそうな可能性もある。ただ、公の施設でもあるため、一定の条件のもと(地域の交流スペースを設けるなど)公募することで進めたいと思う。もちろん、結果的に採用されないこともありうる。公募の骨子案は、資料12頁となる。

事務局

会長より説明されたように、地域の福祉増進や多世代交流を図る事業を展開する事業者を募集する。諸条件として、地域への協力はもとより、提案内容も旧幼稚園が教育・生活の中心的な施設であったことを踏まえ、地域の福祉増進と振興発展に貢献できる事業であることや維持管理においても適正に行うことなどとしてほしい。

会 長

審査員についても全員参加は難しいため、議員や区長、各団体から選出したい。

委 員

やはり、使用されないと活気のない施設となってしまうため、利用してくれる団体があればよいかと思う。行政が必ず運営しなければならない時勢でもないのです、地域の方が喜ぶような内容であればよいのではないかと。

会 長

昨年の幼稚園カフェや未来クラブさんらが活用したいという際にスペースを空けるようにするのが条件になろう。

委 員

福祉センターを管理している経験でいえば、もちろん利用者は良いが管理者の立場となると維持管理は大変。やはり、維持管理もしてくれる団体があれば良い提案だと思う。

委 員

福住郷土活性化プロジェクト協議会でも活用アイデアを議論していた。公募では、地域の住民の用に供するのが主なのか、福祉を主とするのか。

会 長

住民の方々が利用できるスペースは確保してくださいと条件をつけることになる。どれだけ、地域の方々に対して利用開放できるかとの視点で評価する。

委 員

理想をいえば、採択された事業者とは別に地元でも鍵を預かることができればよい。

会 長

運用面については今後の話合いになるかと思う。みなさまから大きな異論がなければ、公募で進めたい。なお、スケジュールとして、6月中旬に公募し7月中旬に決定する予定である。審査員についても、事務局から相談させていただく。

委 員

(異議なし)

会 長 【資料13～14頁】

それでは、その他の報告案件に進めたい。福住小学校スカイプ授業について説明されたい。

事務局（学校教育課）

インターネットを用いて、冒険家や現地の住民と交流をもつ授業を行う。6月16日にベトナムより冒険家・西川さんと福住小をつなぎ、11月に第2回目を行う予定である。

会 長

子どもたちには自分のことばを伝える力を養う機会であると考えます。将来的には、移住される子育て家族を見越し、インターネットを用いた授業・学習ができればよいとの展開も視野に入れたものである。第1歩だと考えている。

委 員

数年間前からスカイプを取り入れた学校がある。時差の問題で相手国は限られるものの、効果として、学習意欲の高まりが見られるために、今後も拡充していただきたい。

会 長

福住小・中学校の課題として聞いていることとして、高校生になった際に多人数と接することであり、外部と触れ合い、コミュニケーションを図ることで解決できればと思う。

会 長

次の報告案件として、高原地区で取り組まれている関係事業である団体「やまと」の活動を前嶋様よりご説明願いたい。

前嶋さん 【資料16～17頁】 - 自己紹介あり(奈良県職員として農業分野に従事していたこと等) -

まず、現状を数値で把握し、委員のみなさまへの提示されるよう事務局へ願い、次回会議にて公表されたい。

昨年も幼稚園カフェを実施した。27年度は森林・山村を活かした取り組みを考えている。28年度は体験講座の売り込みや食用ホオズキの経験を活かした新商品・サービスの開発を検討している。御協力いただきたい。

さて、今年度の具体計画として決定しているイベント等として、7月4日にマイタケの伏せ込みとホテル観察会、8月21日～23日に幼稚園カフェがある。市より後援名義をいただき、幼稚園使用許可や福祉センターの利用協力も仰いだ。上記取り組みは、雑誌「ぱーぷる」6月号にて掲載されている。

会 長

活動ありがとうございます。このような取り組みが広がっていければと思う。長滝町でも活動されていると聞いているがいかが。

委 員

長滝町の由来となった、長い滝(高い滝ではない)がある。(前区長の小西さん主導で)有志によりその復興をし始めた。

会 長

ホテル観察会の募集にも Facebook 等に協力したい。

では、次に岡田委員のご提案をお尋ねしたい。

委 員

高原地区の子どもたちに対して何かできないかと検討した。天理大学では、1人用テントを20基購入したところ、例えば、山田公民館校庭でキャンプを行い、高原の子どもたち10人と平坦部の子どもたち10人の交流により、自立と共同を学んでもらえればおもしろいのではと計画している。協力者として、Smile Kids Project と相談している。

会 長

火を扱う場合には注意しないといけないですね。稲刈り時期に合わずとおもしろいかどうか。もともと、平坦の子どもらと高原地区の子どもらとの交流策は言及してきた。ただ、交通手段の問題があり、対策として路線バスの往復に合わせて子どもらを運ぶということも考えていきたいと思う。

委 員

現在も藤井町・仁興町などの子どもは丹波市小・北中への通学にはバスを利用している。福住への対策は保護者が送迎することもありうる。

会 長

たしかにその方法もあるが、制度の大枠は行政側が準備すべきだろうと思う。廃校問題にもつながるが、児童数を増加させる対策として家族ごと高原地区へ住まないといけないということでもないであろう。送迎の対策によって増加することもある。積極的に取り組みたい。

山田公民館でのゼミ合宿やセミナーはどうか。

委員

ぜひ、大学で進めていきたい。単体大学ではなく、2つの大学合同でしたい。

高津地方創生アドバイザー

協議会へは初参加となったが、参加することで見出せるものもある。総合戦略へ活かすようにしたい。また、手が回らないという意見もあったが、(そのような状況だからこそ)新しい人が来て仕事生まれるという考え方もある。なんとか知恵出したい。

会長

ありがとうございます。傍聴されたゼミ生の2人も企画に参加してください。その他意見等はあるか。

委員

約3年前から、福住郷土活性化プロジェクト協議会において、道の駅ミニ版を企画している。地域野菜や炭・お茶など販売したいが、地権者からの条件として行政と契約するならばよいとも言われている。一度検討願いたい。

委員

例えば、耕作放棄地問題も中間管理機構的に行政が関与することもあるため、良い知恵を事務局と相談されたい。

6. 次回の日程と主な協議内容

次回・第5回会議は、6月下旬を目途とし、会場は福住公民館・時間帯は18時30分以降等の夜分開催とすることを伝えた。

7. 閉会 -15:45-

以上